

小学1・2学年への森林教室実施

9月2日（金）、八幡平市安比高原にて八幡平市立寄木小学校1・2学年児童27名へ森林教室を行いました。

当日は、安比高原ブナ二次林や牧野を約1時間散策し、「ウォッチングビンゴ」（16マス内に記されている樹木・虫・植物の実などを探すぐえ）を行いながら、安比の森林について学習しました。



総勢27名が整列

今回は27名を1列縦隊で引率することが困難であったため、児童を4班に分け、牧野を廻るコースにて2班ごとに右巻き進行と左巻き進行で実施しました。



整列してブナ林を散策

児童たちは、虫やカエルを見つけると「何かいるっ!」と大きな声で反応し、じっくり観察していました。

熱心な観察に想定外の時間を費やしてしまい、やむなく予定のコースをショートカットして急いで出発地点に戻ることとなってしまいましたが、児童たちは満足した表情でした。



見つけたものを各班で確認

後半は、放牧中の馬6頭とのふれあいを経験してもらい、馬に草を食べさせたり毛並みや生態について安比高原ふるさと倶楽部の方にご説明いただき、児童には大変貴重な体験となりました。

新型コロナウイルス感染状況は未だ収束の兆しが見えないですが、今後も感染防止措置を徹底しつつ森林教室を継続していきます。



ウォッチングビンゴシート記入中



馬とふれあいました